

## 令和3年第11回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和3年11月10日 午後1時30分
- 2 閉会 令和3年11月10日 午後2時46分
- 3 会議に出席した委員  
鈴木欽也教育長、高崎佐智江教育長職務代理者、金田真也委員  
太田孝雄委員、天野千栄子委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員  
教育部長 増山禎之  
教育総務課長 大羽浩和  
学校教育課長 近藤智彦  
生涯学習課長 山田正勝  
スポーツ課長 粕谷幸充  
文化財課長 天野敏規  
図書館長 是住久美子  
教育総務課教育総務係長 彦坂幸子
- 6 議事日程  
別紙のとおり

## 田原市教育委員会第11回定例会議事日程

日 時 令和3年11月10日(水)

午後1時30分

場 所 北庁舎2階 200会議室

### 1 会議録署名者の指名

### 2 教育長報告事項

### 3 議 題

- (1) 令和3年度一般会計教育費補正予算について
- (2) 田原市文化財指定に係る諮問について

### 4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 令和4年度小中学校入学式等儀式の実施日について
- (3) 中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会の結果について

### 5 その他

開 会 午後 1 時30分

教育長

本日は、何かとご多用のところご出席くださりましてありがとうございます。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達しておりますので、令和3年田原市教育委員会第11回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、高崎委員と太田委員のご兩名を指名させていただきますのでよろしく願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告を私のほうからさせていただきます。

資料をご覧ください。

学校訪問が何校か入っております。

10月25日の赤羽根中学校が今年度最後の学校訪問になるかと思えます。1学期から通して、全校を訪問し、学校の規模や施設、環境の違いなどありますが、どの学校も、特色や良さを生かすように、最大限努力をして教育活動を進めていただいているというのが、とてもよく分かりました。また、どの学校も共通して、子ども達が大変落ち着いていて、生き生きとした良い表情で授業に参加できているという印象を受けました。子ども達が学ぶ環境として、学校の中にとってもよい空気が流れているなという印象を強く持ちました。

現在の田原市の各学校が充実した教育活動を進めてくれており、こういう状況を生み出しているのかなということで、うれしく思ったところでございます。

それから、共通する良さとして、どの学校も校区から多くの支援や協力を得られているということでもあります。地域の方達が本当に学校を大切に、協力してくださっているのを、どの学校に行っても感じました。大変ありがたいことでもありますし、学校もそういった形で地域に開いた学校としての努力をしている証しでもあるのかなということで、こういった関係が続いていくといいなと感じております。

それからもう1点、どの学校もタブレットの活用を大変積極的に取り組んでいてくれました。教員や学校によって多少の差はありますが、それぞれの学校で何とか活用できるようにという努力をみることができました。

タブレットについては、ただ使えるようになることが目的ではなくて、それを使ってより深い学びへ向かっていくということが、最終的な目標であるものですから、今後いかに実現していくのか、各学校で

も、教育委員会でも努めていかななくてはならないと思っているところ  
であります。

今回の学校訪問の中で、特に2校について、関心を持って行かせて  
いただきました。

1校は、10月18日の伊良湖岬小学校であります。平成27年4月に3  
小学区が統合して新しく伊良湖岬小学校ができ、今年度8月に新校舎  
へ移転をして、また、新たなステージに入ったということで、大きな  
節目となった年であると思います。訪問して、心機一転、より充実し  
た教育活動を進めていってくれていると感じました。学校長のほうか  
ら、「ぜひ、地域の拠点となるような学校にしていきたい」というよう  
な思いも聞き、これも地域から非常に大切にされている要素の一つな  
のかなということを感じました。移転後、新校舎を校区に開放したと  
ころ、延べ500人ぐらいの方達が見に来てくださったということで、地  
域の人達も大変関心を持ってくださっているということで、そういつ  
たことも大切に、今後進めていってもらいたいと思いました。

もう1校は、10月25日の赤羽根中学校であります。今年4月に泉中  
学校と統合して、新たな赤羽根中学校としてスタートしている学校で  
あります。学校のほうでも、教育目標に「新生赤羽根中」というよう  
な文言を使っておりました。両校が一緒になることで、新たな赤羽根  
中学校として踏み出すというようなことで、一生懸命取り組んでみえ  
ました。一番心配していた両校の生徒がうまく仲間づくりをして、い  
い関係で学校生活を送れているのかなということは、全く問題がなく、  
本当に前から一緒にいる学校の生徒のような姿で、学校生活を送って  
いるのが見られてとてもうれしく思いました。両校の生徒が互いを尊  
重し合い、共に学ぼうという姿勢を、先生方も大切に指導してみえた  
ということが、いろいろなところから伝わってきました。校長先生が、  
生徒の代表が文化祭の中で発表した作文を紹介してくれたのですが、  
まさに教員側が願っているような、両校の子ども達が心を通じ合わ  
せて、一生懸命いい学校を一緒につくっていこうという、そういった気  
持ちが伝わってくる作文で、聞いていてとても感動しました。赤羽根  
中学校が、今後、ますますこういった形で、いい学校にさらに伸びて  
いってくれるといいなと思いました。これも統合することが決まった  
段階から、両校が綿密な準備をして、子ども達の交流を図ったり、様々  
な面でスムーズに統合するように準備してもらっていたおかげかなと  
いうこともとても強く感じました。

新しいスタートを切った2校を訪問し、それぞれに子ども達が、そ  
の中でよい活動をしているということが何よりも自分としては、うれ  
しく感じたところでございます。

10月28日、教育研究発表会が野田小学校と福江中学校で開催されま

した。

野田小学校は、田原市教育委員会が3年間の研究委嘱をした研究の3年目の発表、福江中学校は、2年間の教育課題研究の成果発表を行いました。

野田小学校は、国語の授業研究を通して、主体的・対話的で深い学びの実現をどう目指していくか、そのことに焦点を当てた研究でありました。

それから福江中学校は、コミュニティ・スクールの在り方、地域のひと・こと・ものが生きるコミュニティ・スクールとはいかがなものかと、そのことを研究した成果を問う発表会でありました。

本来ですと、市内の全教員が両校へ分散して行って、研究の成果をしっかりと参観するのですが、コロナ禍の状況ということで、参加者を各学校から1名ないし2名程度と絞り、参加者は少なかつたわけですが、とても充実したよい発表会ができたかなと思っております。また、両校ともが、新型コロナウイルス感染症で非常に教育活動が制約される中での研究活動であったわけですが、その中でとても充実した研究を進めてもらったなどということで、感謝をしている次第でございます。

そのほか、全国大会へ出た子の表敬訪問であったりとか、様々な大会等が幾つか行われておりますが、コロナのほうも少し今収まっている状況ということで、そういった大会などが何とか開催できていることを喜びたいと思いますし、何とかこのままの状況で進んでいってもらえるといいのかなということを思っている次第であります。

私のほうからは以上とさせていただきます。

何か今の報告につきまして、ご質問等がありましたら受けたいと思っておりますがいかがでしょうか。

ご質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

ではこれより議題に入ります。

初めに、議案第20号「令和3年度一般会計教育費補正予算について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

教育総務課長

議案第20号「令和3年度一般会計教育費補正予算について」ということで、この12月議会に向けて補正予算を提出したいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

まずは教育総務課から説明いたします。

資料1ページ目をご覧ください。10款2項1目の小学校管理運営事業でございます。今回の補正額が552万2,000円、補正後の額としては2億221万5,000円となります。

今回の補正の案件でございますが、田原南部小学校の雨水排水改修

工事でございます。

今年8月の2回ほどあった大雨の際に、田原南部小学校で床上浸水被害が発生しております。それを改善するために今回改修を実施するものです。

対策の内容としては、排水溝を新たに設置して、雨水の流れをよくするというところでございます。

南部小には校舎が2棟あり、現在、山から来た水が、校舎の中央部分から左右に分かれて排水するというような仕組みになっております。大雨が降ったときに、排水が機能せず、水がたまり、校舎の入り口から水が入り、教室が浸水してしまったという状況です。それを改善するために、校舎の間に新たな排水溝を設けて、ダイレクトに下のグラウンドの排水溝に流そうというような工事を実施しようと思っております。

以上で教育総務課の関係の補正予算について説明を終わります。

続きまして、生涯学習課です。

10款4項4目の市民館運営事業になります。

今回、781万6,000円の要望をお願いしています。概要につきましては、4市民館について順次ご説明していきます。

①東部市民館サッシ改修工事です。

東部市民館のホール南側の健康管理コーナーと図書コーナーには、木製のサッシが取り付けられております。この木製サッシの下部が雨水により腐食してしまっており、サッシ木枠のはがれが生じて、ガラスサッシが外れやすい状況となっております。そして、雨天時にはそこから雨水が床に広がって、利用者が滑りやすい状況となっているところです。現在は、サッシ付近につい立てを立てて、外れやすい木枠サッシには、近づけないように措置がしてございます。窓の開閉につきましては使用禁止となっているとことです。

これにつきまして、木製サッシを撤去し、アルミサッシへ取り替える工事を行うもので、金額としては、511万5,000円の要望をしてございます。

②清田市民館ホール改修工事です。

清田市民館は、入って正面のエントランスホール天井にサンルームがありますが、そのシーリングの劣化部分から、今年に入って一気に雨の漏れが激しくなっている状態でございます。シーリングの状態の悪化によって、サンルームにはめ込まれているガラスや腐食した壁面部分が剥がれ落ちる危険性もある状況です。現在は進入防止柵等を設置して、安全対策を行っております。今回、サンルームの防水シーリング、窓ガラスのフィルム貼り、あと壁面劣化の補修を行うもので、工事費につきましては、49万5,000円になっております。

③神戸市民館屋上修繕改修工事です。

現在、神戸市民館の2階屋上と多目的ホール屋上のパラペットアゴ下端部コンクリートが爆裂している状況です。このパラペットとは、外壁と屋根の境目にある立ち上がり部分のことで、屋根に降った雨を受け止めるためのものです。このコンクリートの爆裂の箇所のところは、鉄筋が露出している状態でございます、このまま放置すると建物の躯体にも影響が出ることや、爆裂の進行によって今以上の補修費用が必要となるため、早めの工事をお願いするということで今回補正をお願いしているところでございます。

工事内容につきましては、爆裂したパラペットアゴ下端部の補修、ウレタン防水等を行うものです。

工事費用としましては、108万9,000円をお願いしているところで。

④衣笠市民館街灯修繕工事です。

衣笠市民館敷地に設置してあります街路灯については、根本が腐食して穴が開いている状況でございます。2本は器具が腐食し、小さな穴が開いている状況で、残りの一つも腐食が進んでいます。腐食の状況が進んでいるため、補強による対応も考えましたが、既に腐食が始まっているものを補強するというのは、なかなか難しいということで、取替え工事を行うものでございます。

工事内容としては、既存の街灯を撤去し、新たにLED街灯を設置するものでございます。工事費としては111万7,000円をお願いしているものでございます。

以上、市民館運営事業の補正の状況でございます。

事務局の説明が終わりました。

ご質問等ございますでしょうか。

では、ご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第20号「令和3年度一般会計教育費補正予算について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

では、ご異議なしということで、議案第20号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、議案第21号「田原市文化財指定に係る諮問について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

文化財課です。

議案第21号となります。

田原市文化財指定に係る諮問については、田原市文化財保護条例第4条第3項の規定により、田原市文化財保護審議会に意見を求めるものとする。令和3年11月10日提出、教育長名によるものであります。

1枚はねていただきますと、田原市教育委員会から田原市の文化財保護審議会の会長宛てに田原市文化財指定についての諮問をさせてい

教育長

教育長

文化財課長

ただ意見を求めるための文章がつけてございます。

次のページに、指定する文化財についての説明があります。種別は古文書、指定の番号は5になります。名称につきましては、「畠村萬附留日記」、数量につきましては、一括で103点となります。もう2枚はねていただくと、この萬附留日記の調書リストがあります。こちらが具体的な資料になるのですが、ナンバーがつけられておまして、103番までを今回指定の物件というように指定をしていきたいというものになっております。

この資料の所在は、田原市古田町岡ノ越6-4の渥美郷土資料展示収蔵館に収蔵保管しているものになります。

具体的にこの資料につきまして説明をさせていただきますので、概要をご覧ください。

畠村萬附留日記につきましては、時代が江戸時代の中期、一番古いものは元禄3年から明治22年ということになります。畠村は、現在は田原市の福江町がほぼ相当する地域になります。明治21年に市町村制というのが敷かれまして、明治22年から畠村が福江村に変わっておりますので、今回指定する資料につきましては、明治22年までを畠村萬附留日記という名前として指定をさせていただきたいと考えているものでございます。

この日記は、渥美半島における政治経済、社会の一つの中心地でありました、渥美郡の畠村の出来事を書きとどめました村の日記になります。

田原藩日記という藩の日記が、市の指定の文化財として指定されているのですが、そちらは藩の視点から書かれた日記でありまして、畠村萬附留日記は、村の日記として、村の視点で書かれた非常に貴重なものになります。

先ほど見ていただいたリストをご覧くださいと、冊子のようにになっているもの、それから1枚しか残っていないものなど様々な形状があるのですが、今回はその形状にこだわらずに、将来こういったものが残されている部分が非常に貴重だということで、全体、ものによってはページが開かなかつたり、虫食いがひどかつたりして読めないようなものもあるのですが、今回はそちらも含めて明治22年までで残されているものについては、指定を考えていくというように考えております。

日記に書かれた内容につきましては、政治経済、社会の各分野にわたって書かれておまして、また、幕府等からの触状なども見られております。日記の記録者は、割元名主をはじめとする村の有力者が書いているというような、非常に珍しい、全国にもあまり残っている例がないというものでありますので、愛知県史からも非常に注目されて、県史などにも載っているという資料になっております。

この日記は、近世から近代にかけての村々の政治とか行政、それから経済、社会を生き生きと描き出しておりまして、地方とか地域の村々の姿を見ることができる非常に貴重な資料であるということ、特に幕末から明治の日記というものが、ほぼ通年で残されておりますので、幕藩体制から明治新政府へ移行する転換期を、政治行政史の底辺から明らかにしていくもの、国のほうから見るのではなくて村のほうから見たいける資料というようなところで、非常に貴重なものであるということでもありますので、田原市の指定をかけさせていただいて、後世に伝えていきたいというところから、今回文化財の保護審議会のほうへ諮問をかけさせていただくものになります。

説明は以上となります。

教育長

事務局の説明が終わりました。

ご質問などございますでしょうか。

ご質問も特にないようですので、お諮りいたします。

議案第21号「田原市文化財指定に係る諮問について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議なしということで、議案第21号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。

それでは、教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次お願いいたします。

まず、高崎委員からお願いいたします。

高崎委員

10月22日若戸小学校へ学校訪問、そして、10月28日に野田小学校へ研究発表会に行っていました。

まず、若戸小学校について申し上げます。校門を通りますと大きなユリノキがそびえたっていて、教室からは海が見渡され、反対側には山があって松が反り立っていて、何というすばらしいところなんだろうとまずびっくりいたしました。

その伸び伸びとした環境のように、子ども達もとても一人一人が伸び伸びと、そして自由に、一人一人が大切に育っているような感じを受けました。校長先生のお話で、「子ども同士、先生同士、先生と子ども達、話合いの中からはいつも始めさせていただいています。」というようなことをおっしゃっていました。校長室の机が、運動場を見渡せるように配置されていまして、お子さんが大好きな愛情の深い校長先生で、先生方もとても大切にしてくるんだなということを感じさせていただきました。

そして、授業に関してですけれども、一番最初に見た1年生がタブレットを利用しており、タブレットを上手に活用されて、先生の声か

けに子ども達も上手に対応していたのが印象的でした。

他の学年で、理科の実験で塩を水に溶かすというのをやっていたのですが、その中で子ども達から様々な意見が出ていて、多様性を感じることができました。そして、そこから子ども達が自分自身の考えで、光が反射して海が青く見えるんだよとか、いろいろな意見が活発に出てきて、物おじしないで自分の言葉で言えるということに、日頃の環境のすばらしさを思いました。

また、地域の行事に市民館行事とかに、先生方全員で行かれるということも聞きました。これは、地域一体となって、そして校長先生もおっしゃっていたようなチーム若戸、チーム力というものをとても感じることができました。

次に、野田小学校に行ったことを申し上げたいと思います。

「学びに向かう子 「野田っ子ポイント」を活用した国語の授業」というのがテーマだったのですけれども、振り返り学習というものを校長先生がとても大事にされていらっしゃいました。この振り返り学習というのは、授業時間を確保するのがとても大変だそうだけれども、それを次の授業の中で振り返り、そしてまた新しいことをするということに対して重点を置いて3年間頑張ってみえたそうです。

校舎の中は、いたるところに地元のお花のアレンジが飾られていました。これは、花育ということで、5、6年生を対象にJAさんの協力で毎年行われているそうです。アレンジの中に子ども達の心温まるメッセージがあり、とてもほっとするような思いをさせていただきました。

そして、振り返り学習ということでしたけれども、途中で先生方が高学年と低学年に分かれて、授業の実践を語る会というのがあったのですが、司会の先生が、「あることにこだわり、授業を進められなかったことが反省です」ということを申し上げられていて、この振り返りということが常に先生方の中に身につけていらっしゃるんだなということを感じました。

最後に、校長先生が振り返り学習という学習面だけではなく、生活の中でも振り返って、心身共に成長していってほしいということと、この振り返り学習のよさを他校でもこの学校の様子を見て、広げていっていただけるといいなということをおっしゃっていましたので、こういった活動が続いていただくといいかなということを感じました。

両校を訪ね、生き生きとした子ども達を見たときに、子ども達の将来の可能性というものを感じさせていただきました。

以上です。

ありがとうございました。

続きまして、金田委員お願いします。

教育長

10月16日の土曜日に、田原市博物館の太田洋愛展に行つてまいりました。

自分がああいったところに行く理由というのは、自分で行きたいなと思うのと、友達に誘われるかどっちかですけれども、今回は自分で行きたいなと思つて行かさせていただきました。

理由としては、画集を見たときに、その中の温州ミカンのみずみずしさと艶がすごくよく表現されているというのと、この人は本当にいいものを知っているんだなというのをすごく感じました。こういったものをつくりたいという目標にしているようなミカンを描いているので、その人が描く桜というのは、最高の状態で上手にかけているんだろうなというのを見たくて行かさせていただきました。

桜を見たらすごくきれいに描かれていたのですが、それよりも下に書いてある年月や描いた場所を見ていると、この人が四国から北海道まで桜を求めてあわただしく動いていく、必死で走り回っている姿というのを想像していました。

たまたま博物館にくわしい方とお会いして、太田洋愛さんが旅をしている間、奥さんが旅館に前もつて洗濯物を届けたりだとか、そういったやり取りがあり、奥さんの力があつてこれだけのことができたんだなというのを教えてもらつたりして、楽しく過ごさせていただきました。

次に10月24日、僕は行っていないですけど、「渥美ロビーコンサート」に妻が行つたので、話を聞かせてもらいました。

ジャズの取っかかりとしてはとてもいいコンサートだなというのを話していたというのと、あと歌い手側に配慮された会場づくり、コロナなので空席があるのですが、そこに寂しくないようにという、会場をつくる側が配慮していたというのがよかつたのではないかなと言っていました。

10月28日に、野田小学校の研究発表会に行つてまいりました。高崎委員とかぶりますので簡単に説明しますが、まず昨年この研究発表会が新型コロナウイルスで開かれていなかったのが、今回、縮小されたのですが、3年間の研究発表会ができたということはとても成果だったのかなとそう感じます。

ふだん学校訪問では巡回して、ところどころしか見なかつたので、この学校訪問は3年生の授業を最初から最後まで張り付いて見させてもらいました。よく聞く「主体的・対話的で深い学び」というのが、何となくこういうことなのかなというイメージが伝わつてまいりました。日々の授業で、課題をどのように投げかけて、それで子ども達の短い言葉で振り返らせるかという、そういった授業の重要性と大変さというのを知りました。高崎委員にもあつたように、反省というのは子ども達よりも自分に一番必要なことで、反省をして課題を持って、

教育長

太田委員

次にステップアップする、とても大事なことだなということを振り返って感じさせていただきました。

まとめると、教師のスキルアップや成長が、それが一番子ども達のためになるのかなというように感じさせていただきました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続きまして、太田委員お願いします。

私も2校、学校訪問に行かせていただきました。

10月18日に伊良湖岬小学校にまいりました。今回はすばらしい校舎の中で子ども達が水を得た魚のように、大変生き生きしていたのが印象的でした。各学級の授業も、とても子ども達が活発に活動しているなど思いました。伊良湖岬小も最近いろいろな変化があるんですけど、研究指定もあって授業のほうにも真剣に取り組んでいる様子がよく分かりました。

伊良湖岬小学校は、小学校の統合、校舎の移転だということで、地域から見ると大変学校が変化しているというような状況にあるわけで、校長先生が地域の拠点にというようなことも言われているように、やはり積極的に学校から地域のほうへ働きかけていくことが必要ではないかなということを感じました。

10月19日に中山小学校に訪問しました。大変落ち着いて生活をしておりましたが、中山小学校は児童数が大変減少しているということで、以前は1学年に2学級、3学級あったわけですけど、今はもう単学級で、全校で188名。さらに5年後には129名ということで、3分の2ぐらいになるということが予想されているわけですけども、児童数の減少と同時に、教員数も減少していくわけですので、学校運営の中で行事や部活動の見直しに取り組んでおりました。さらに、このコロナ禍、それから働き方改革等、大変学校の運営にはいろいろ知恵を出してやっているということを感じました。

両校の学校訪問を通して、やはりこれから働き方改革で、教員の勤務の問題がいろいろ出てくるわけですけども、より教員の使命というか、役割としては、これから授業のほうの質が望まれていくのではないかなということと、それからたくましく生き抜く力というのを教育活動のどのような場面で育成していくかという、そういう場面がだんだん減ってきているのではないかなということを感じましたので、各学校、今後どういう形で子ども達のたくましく生き抜く力を育成していくかが課題ではないかなということを感じました。

それから10月28日に福江中学校の研究発表に出させていただきます。「つなぐ」というテーマで、コミュニティ・スクールの研究発表会でした。私にとっては勉強になる、いい研究発表会だったなと思えました。福江中学校の活動の発表や、愛教大の先生の講演をお聞きして、

コミュニティ・スクールというのは、学校と地域が相互でウィンウィンの関係が必要だということで、今後少子高齢化、地域の教育力低下等言われているわけですが、コミュニティ・スクールを各学校、各地域が取り組んでいくということが必要になってくるということでした。東三では福江中学校しかまだ正式に取り組んでいないということで、私は今、自治会のほうもやらせていただいているわけですが、やはり自治会と学校が、それぞれ現状や課題等を把握して、どういう形で連携していくかということの必要感を持って取り組んでいかないと、なかなかうまくいかないのではないかなということを思います。このコミュニティ・スクールを立ち上げていくためには、とても大きなエネルギーが必要だということを感じました。

研究発表会の中で、地域の方と他校の参加者の方と福江中学校の先生が入って4、5人でいくつかのグループに分かれてワークショップをやってみえたのですが、とても皆さん熱心に、上手にやってみえるなということを思いました。福江中学校の先生がファシリテーターをやってみえたのですが、上手にまとめて最後の発表もされていることにはとても感心しました。

最後に、教育委員としてではなくて、自治会のほうで先日行われました中部北陸実業団駅伝の補助員のほうにちょっと関わらせていただきました。今まで観客としてでしたけれども、補助員ということで事前の説明会があったり、当日運営のほうも、とても計画が綿密に練られていて、何年かやってみえて本当にスムーズに運営ができているなということを感じました。天候にも恵まれて、無観客ということで多少地域の方がちょっと来たり、それからチームの応援で声をかけたりしている方もありましたけれども、企画運営された方々、大変ご苦労があったのではないかなということを、観客ではなくて補助員の立場でまたより深く感じることができました。

以上です。

ありがとうございました。

最後に天野委員、よろしくお願ひします。

お願ひいたします。

10月19日に亀山小学校に学校訪問で伺わせていただきました。スローガンが「伝える、つながる、ハッピー笑顔」ということでした。全校児童数が42人、1学年全て10人以下という小規模校ではありますが、校内では、ほかの学年とのつながりを大切にしたり、他校との交流をICTを利用してリモート講義を進めていらっしゃる、ちょうど訪問した週にも5年生が清田小学校の児童と一緒に宿泊体験学習に出かけるんですとお伺いしまして、少人数だからこそできることを取り組んでいらっしゃいました。

来年4月からは、この田原市で初めて、今の2年生と3年生で複式

教育長

天野委員

学級をスタートされるということで、その準備をされているという話を伺いました。保護者の方とか地域の方々の不安なこととかを伺う説明会等も考えていらっしゃるということで、特に理解に差の出る算数等は、それぞれの学年のものを行うことですか、どうしても先生の人数が減ってしまうことなども考えて、教室のレイアウトですか、様々な準備があるという話を伺いました。

授業風景はどこの教室でも本当に温かい雰囲気の中で、授業をされていて、亀山のことを大好きな生徒さんたちで、こちらも温かい思いで楽しく拝見させていただきました。

それから私も同じく、10月28日に福江中学校の研究発表会に伺いました。研究主題の「つなぐ ～地域の「ひと・こと・もの」が生きるCSの確立」ということで、まず各学年で行った実践事例の活動報告があったのですが、各学年で渥美の地域の産業は農水産業が盛んで、あと観光業もあるんですけども、こちらを営んでいる地域ボランティアさんの方々を訪問してみえたり、学校にお招きしたりして、地域の良さを学ばれたという発表でした。講師になってもらう地域ボランティアの方達と、生徒の希望をいろいろ取るのですが、学校と結ぶ役割が地域コーディネーターという役割ですが、ちょうど今年から私の主人がやらせていただいている関係で、生徒達の希望を聞いて、講師の方がいいんじゃないかと言ってご連絡を取るのですが、どの方もお願いした方々は、皆さん快くお引き受けしてくださったということでした。

自分の子どもや家族が学校を卒業してしまうと、学校との縁がなくなってしまうので、これからもこういう協力ができたらお声かけくださいという声もあったりして、ありがたいなと思いました。

研究発表会の中で講演をしてくださった愛教大の先生は、このコミュニティ・スクール導入のご指導をいただいた、エキスパートの先生でいらっしゃるということで、本当に分かりやすく教えていただきました。

それから、ちょうど今週の日曜日になると思うのですが、14日に地域の防災訓練に中学生が学校行事として参加することになったという話がありました。もし災害が起きて、避難所を開設した際にも中学生になりますと、戦力にもなってくれるということで、地域の方々も訓練の中できっと頼もしく思ってくださいるといいなと思いました。私も大変勉強になりました。

以上です。

ありがとうございました。

次に、報告事項（2）令和4年度小中学校入学式等儀式の実施日について、事務局から報告をお願いします。

令和4年度小中学校入学式等儀式の実施日についてです。

教育長

学校教育課長

資料をご覧ください。こちらは10月25日付で、愛知県都市教育長協議会長から情報提供があったものでありまして、11月17日が報道発表というように聞いておりますので、一応そこまではこの場でとどめておいていただけたらと思います。

令和4年度小中学校入学式等儀式の実施日ですが、まず入学式は、小学校が4月6日の水曜日、中学校が4月7日の木曜日です。

始業式は、三河が4月6日、入学式と同じ日、尾張は次の日4月7日の木曜日。中学校は4月7日木曜日、入学式と同じ日になります。

それから卒業式は、小学校が3月20日の月曜日、中学校は3月7日の火曜日。

修了式は、小学校が3月24日金曜日、中学校も同じ日になります。

続いてそこに参考としまして、高等学校の入試の日程を挙げさせていただいておりますが、こちらも案ということで、若干来年度、日程が、私立、公立共に早まった日程になっているということ、それから公立高校におきましては、学力検査が今のところの予定では、マークシートによる問題になるということ。

あとは、やはり日程がだいぶ早まっているということになると聞いています。

細かな内容等については、まだこちらも分かっていないものであるので、まずは日程だけということでご了承ください。

以上になります。

教育長

ただいまの報告につきまして、何か御質問等ございますでしょうか。

では、ないようですので、次に（3）中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会の結果について事務局から報告をお願いします。

スポーツ課長

スポーツ課でございます。

中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会の結果についてということで、太田委員さんをはじめ、ボランティアにいただいた方、本当にありがとうございました。無事に終えることができました。

今回の大会も大きな事故も今のところ情報としては入っておりません。ただ、反省点はございまして、いろいろな意味でもう一度初心に帰ってやらなければならないというように感じたところでございます。

田原においては、第10回目となりまして、ここ2年、皆さんご存じのとおり、コロナの状況で若干無観客で行っております。

内容でございますけれども、中部実業団は8チーム、プラスオープン参加の方が3チームありまして、11チームの参加でございました。

結果については、トヨタ紡織さんが1位、トヨタ自動車さんが2位、愛三が3位。

北陸実業団は、1位YKK、2位セキノ興産、3位高田自衛隊ということでございます。

教育長

詳細については、時間のある中で見ていただければと思いますので  
よろしくをお願いします。

本当にありがとうございました。

以上です。

事務局からの説明が終わりました。

何かご質問等ありますでしょうか。

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

教育総務課長

次に、その他ですが、事務局から何かありますでしょうか。

次回、第12回の定例会を12月17日金曜日 1時半から当会場において  
実施したいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

また、12月21日の火曜日に総合教育会議を予定しております。今の  
ところ1時半から行いますので、ご予約のほうをお願ひしたいと思ひ  
ます。

私からは以上でございます。

教育長

ただいまの件につきまして、何かご質問ありますでしょうか。

そのほかに事務局から何かありましたらお願いします。

文化財課長

文化財課です。

井筒楼、角上楼本館についてと書かれている資料をご覧ください。  
こちらにつきましては、国の文化審議会において、登録有形文化財建  
造物の登録について、11月19日の金曜日に文部科学大臣に答申がされ  
る予定になっております。これを受けまして、官報告示ということが  
なされます。そうしますと、登録有形文化財の登録ということになっ  
てまいります。官報告示につきましては、3月ぐらいに予定している  
という情報を得ておりますが、まず11月19日に答申がされて、ほぼほ  
ぼ登録という状況になってまいりますので、角上楼、井筒楼両旅館が  
登録になるということになってまいります。

この情報につきましては、11月19日午後5時に一斉に国、県、市が  
発表しますので、19日の午後5時以降で解禁ということにさせていた  
だきたいと思ひます。おそらく11月20日の朝刊新聞には掲載されてい  
くと思ひます。

資料のほうには、登録の内容につきまして書かれております。

ご承知かと思ひますが、井筒楼と角上楼につきましては、木造二階  
建ての建物でありまして老舗の旅館として知られております。現在も  
営業中であります。

井筒楼のほうが古い建物でありまして、明治元年には建っていたと  
いうことが分かっておりまして、その後、何回か改築をされてきてお  
ります。大正、昭和初め、昭和の中頃、それから昭和の終わりぐらい  
というような感じで、何度も改築をされてきているのですが、非常に  
古い老舗の旅館ということで貴重だということになっております。

同様に角上楼のほうも昭和11年には確実に建っていたということが分かっておりまして、その後、平成16年に大規模な改修をされて、特に1階部分が改修されておりますが、こちらも港町として近代に栄えた福江の料理旅館と、両物件とも当時の福江の港町のにぎわいをよく伝えているものであるというところから国の登録有形文化財に登録されるということで、11月19日発表がありますので、事前にお伝えをさせていただきます。

以上です。

教育長

ただいまの件について、何かご質問はありますか。

それでは、生涯学習課からお願いします。

生涯学習課長

田原人権ファンクション委員会が主催します講演会のご案内でございます。落語家の柳家花緑さんによる講演で、日時につきましては、12月12日の日曜日になります。場所は、田原文化会館文化ホールです。入場は無料となっております。

柳家花緑さんですけれども、発達障害に自分は気づいたという格好からお話が始まっていくのかと思います。またお時間等ございましたら、チラシ裏面に参加申し込みがございますので、申し込んでいただけたらと思います。

それから、もう一つ、令和4年田原市成人式について、先回の教育委員会のほうでは口頭で少しお話しをさせていただきましたけれども、今回資料をご覧ください。

田原市成人式につきましては、令和4年1月9日日曜日に、昨年と同様、田原会場、渥美会場の2会場で開催を予定しております。田原会場につきましては、一部と二部の2回開催する予定でございます。

開催時刻につきましては、田原、渥美会場共に10時から、田原につきましては、二部が11時30分からの開催となります。

対象者につきましては、田原会場一部は、田原中学校区、二部は、田原東部中学校区と赤羽根中学校区、渥美会場につきましては、福江中学校区、旧伊良湖岬中学校区、旧泉中学校区となっております。

改めて通知のほうをお送りいたしますのでよろしくお願ひしたいと思います。

裏面につきましては、タイムスケジュール等が書いてございます。大まかには、昨年同様の開催となっております。こういった格好で今年度も成人式を開催するものでございます。

以上です。

教育長

今の成人式の説明につきまして、何かご質問はありますか。

そのほか、事務局から何かありますか。

それでは、委員の皆さんのほうから何かありましたらお願ひいたします。

よろしかったでしょうか。

以上で本日の議事は全て終了いたしました。  
これもちまして、田原市教育委員会第11回定例会を閉会とさせていただきます。

御協力ありがとうございました。

閉 会 午後 2 時46分

(会議録署名人)

教育長

委員

委員